



平成 20 年 11 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 15 日

上場会社名 アルテック株式会社

上場取引所

東証第一部

コード番号 9972

URL <http://www.altech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加畑 洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 星野 幸広

TEL (03) 5363 - 0922

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 11 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 12 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年11月期第3四半期	18,800	△0.1	187	—	515	—	40	△98.3
19年11月期第3四半期	18,822	△15.3	△49	—	△115	—	2,331	—
19年11月期	29,425	△19.5	971	—	847	—	3,240	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年11月期第3四半期	2	11	—	—
19年11月期第3四半期	158	14	137	88
19年11月期	191	47	164	18

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
20年11月期第3四半期	23,627	—	10,917	45.7	565	46	—	—
19年11月期第3四半期	28,517	—	10,492	36.6	546	37	—	—
19年11月期	25,713	—	11,215	43.3	582	76	—	—

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年11月期第3四半期	△1,403	—	△1,216	—	△130	—	3,982	—
19年11月期第3四半期	624	—	8,902	—	△3,754	—	8,649	—
19年11月期	1,234	—	8,939	—	△6,252	—	6,749	—

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			
	中間期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭
19年11月期	—	—	6	00
20年11月期	—	—	6	00
20年11月期(予想)	—	—	6	00

3. 平成 20 年 11 月期の連結業績予想 (平成 19 年 12 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	30,000	2.0	1,300	33.8	1,200	41.5	200	△93.8	10	48

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
 - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- 〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国金融市場の混乱に端を発した世界経済の減速が深刻化の様相を見せつつあるなか、原油価格をはじめとする資源価格の高止まりが続いたことなどにより、景気後退の度合いを強めてまいりました。

このような経営環境の中で、当社グループでは再建計画の2年目がスタートし、当社の革新的企業風土を維持・強化し、持続的に企業価値を向上させるべく、営業力の一層の強化と経営効率の改善による収益基盤の強化に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期における連結業績は、売上高は18,800百万円（前年同期比0.1%減）とわずかに減収となりましたが、利益面では、卸売事業において、原材料費の高騰による仕入価格上昇の影響を受けたものの、低採算事業から撤退したこと、製造事業においては、中国及びインドネシアにおけるペットボトル用プリフォーム及びプラスチックキャップの生産・販売が拡大したこと等により、売上総利益率は15.9%と1.8ポイント改善し、営業損益は187百万円の利益（前年同期は49百万円の損失）、経常損益は持分法投資利益が大幅に増加したことに加え、有利子負債削減により金融コストが低下したこと等により515百万円の利益（前年同期は115百万円の損失）、四半期純損益は特別損失に役員退職慰労引当金繰入額を計上したこと、また、前年同期に特別利益に計上した多額の固定資産売却益という特殊要因がなかったこと等により40百万円の利益（前年同期は2,331百万円の利益）となりました。

なお、当社グループにおいては、得意先の予算確定時期の関係で毎年2月から6月にかけて受注が増加する傾向があり、主力商品である輸入機械の多くが6ヵ月前後の納期であるため売上が第4四半期に集中、増加する傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①連結財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,086百万円減少し、23,627百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少2,766百万円、受取手形及び売掛金の減少1,563百万円や、たな卸資産の増加803百万円、前渡金の増加307百万円、有形固定資産の増加911百万円等であり

ます。負債は、前連結会計年度末に比べ1,788百万円減少し12,710百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少1,625百万円、短期借入金の減少751百万円、新株予約権付社債の減少1,191百万円や、前受金の増加763百万円、長期借入金の増加1,944百万円、役員退職慰労引当金の増加515百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ297百万円減少し10,917百万円となりました。主な増減は、為替換算調整勘定の減少252百万円等であります。この結果、自己資本比率は45.7%と前連結会計年度末比2.4ポイント増加いたしました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて2,766百万円減少し、3,982百万円（前連結会計年度末比41.0%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,403百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益115百万円、減価償却費及び役員退職慰労引当金等の非資金項目の調整、売上債権の減少1,557百万円、たな卸資産の増加803百万円、仕入債務の減少1,615百万円及び法人税等の支払額1,170百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 1,216 百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入 309 百万円、中国及びインドネシアにおけるペットボトル関連事業の生産設備投資を主とする有形固定資産の取得による支出 1,516 百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 130 百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額 909 百万円、長期借入れによる収入 2,767 百万円、長期借入金の返済による支出 666 百万円、新株予約権付社債の償還による支出 1,189 百万円、配当金の支払額 114 百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 11 月期の連結業績予想につきましては、平成 20 年 7 月 15 日の中間決算発表時に公表した数値に修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 ― 社 除外 4 社（アルテックコミュニケーションズ(株)、
アルテックアルト(株)、
アルテックエーディーエス(株)、
アルテックエーアールエス(株)）

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等、影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えて、役員退職慰労金規程に基づく連結会計期間末要支給額を計上しております。

(会計方針の変更)

従来、役員退職慰労金は支出時の費用として処理しておりましたが、当連結会計期間より、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 平成 19 年 4 月 13 日 監査・保証実務委員会報告第 42 号）を適用し、内規に基づく連結会計期間末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しております。

この変更は、役員在任期間にわたり費用配分することにより、期間損益の一層の適正化と財務内容の健全化を図ることを目的として行ったものであります。

これにより当第 3 四半期の営業利益及び経常利益は 19 百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、495 百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前第3四半期 (平成19年8月31日)		当第3四半期 (平成20年8月31日)		増減額 (△印減)	(参考) 前連結会計年度 (平成19年11月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	8,649,951		3,982,787		△4,667,163	6,749,451	
2 受取手形及び売掛金	5,225,192		5,720,167		494,975	7,283,255	
3 たな卸資産	3,150,606		2,706,099		△444,507	1,902,874	
4 前渡金	1,603,240		1,187,038		△416,202	879,567	
5 その他	1,224,071		690,729		△533,341	446,341	
流動資産合計	19,853,062	69.6	14,286,823	60.5	△5,566,238	17,261,490	67.1
II 固定資産							
1 有形固定資産	6,478,822	22.7	6,718,969	28.4	240,147	5,807,718	22.6
2 無形固定資産	43,100	0.2	30,151	0.1	△12,948	38,612	0.2
3 投資その他の資産	2,142,176	7.5	2,591,853	11.0	449,677	2,606,098	10.1
固定資産合計	8,664,098	30.4	9,340,975	39.5	676,876	8,452,428	32.9
資産合計	28,517,160	100.0	23,627,798	100.0	△4,889,361	25,713,918	100.0
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	5,132,397		4,569,812		△562,585	6,195,174	
2 短期借入金	2,588,596		1,309,837		△1,278,758	2,061,736	
3 前受金	2,897,364		2,332,851		△564,512	1,569,101	
4 その他	3,194,098		1,152,661		△2,041,437	2,527,960	
流動負債合計	13,812,456	48.4	9,365,163	39.6	△4,447,293	12,353,972	48.1
II 固定負債							
1 社債	100,000		—		△100,000	—	
2 新株予約権付社債	1,782,000		—		△1,782,000	1,191,000	
3 長期借入金	2,224,165		2,800,001		575,835	855,927	
4 役員退職慰労引当金	—		515,135		515,135	—	
5 その他	105,618		30,109		△75,508	98,003	
固定負債合計	4,211,783	14.8	3,345,247	14.2	△866,536	2,144,931	8.3
負債合計	18,024,240	63.2	12,710,410	53.8	△5,313,829	14,498,903	56.4
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金	5,527,829	19.4	5,527,829	23.4	—	5,527,829	21.5
2 資本剰余金	2,783,821	9.8	2,783,821	11.8	—	2,783,821	10.8
3 利益剰余金	1,584,153	5.5	2,314,562	9.7	730,408	2,388,922	9.3
4 自己株式	△222,490	△0.8	△222,554	△0.9	△63	△222,506	△0.9
株主資本合計	9,673,314	33.9	10,403,659	44.0	730,344	10,478,067	40.7
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券 評価差額金	△8,301	△0.0	△38,765	△0.2	△30,463	△36,035	△0.1
2 繰延ヘッジ損益	△17,519	△0.1	△2,419	△0.0	15,100	△1,365	△0.0
3 為替換算調整勘定	784,212	2.8	433,545	1.9	△350,666	685,776	2.7
評価・換算差額等合計	758,391	2.7	392,361	1.7	△366,030	648,376	2.6
III 少数株主持分	61,214	0.2	121,367	0.5	60,153	88,571	0.3
純資産合計	10,492,920	36.8	10,917,388	46.2	424,467	11,215,015	43.6
負債純資産合計	28,517,160	100.0	23,627,798	100.0	△4,889,361	25,713,918	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成18年12月1日 至平成19年8月31日)		当第3四半期 (自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)		増減額 (△印減)	(参考) 前連結会計年度 (自平成18年12月1日 至平成19年11月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)		金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	18,822,290	100.0	18,800,495	100.0	△21,795	29,425,639	100.0
II 売上原価	16,166,164	85.9	15,814,808	84.1	△351,356	24,847,078	84.4
売上総利益	2,656,126	14.1	2,985,687	15.9	329,560	4,578,560	15.6
III 販売費及び一般管理費	2,705,756	14.4	2,797,999	14.9	92,242	3,606,893	12.3
営業利益又は 営業損失(△)	△49,630	△0.3	187,688	1.0	237,318	971,667	3.3
IV 営業外収益	238,716	1.3	471,532	2.5	232,815	390,055	1.3
V 営業外費用	304,522	1.6	143,283	0.8	△161,238	513,811	1.7
経常利益又は 経常損失(△)	△115,435	△0.6	515,936	2.7	631,372	847,912	2.9
VI 特別利益	3,816,424	20.3	175,408	0.9	△3,641,015	3,805,452	12.9
VII 特別損失	195,477	1.1	576,014	3.0	380,537	542,243	1.8
税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,505,511	18.6	115,330	0.6	△3,390,180	4,111,121	14.0
法人税、住民税 及び事業税	1,110,038	5.9	126,147	0.7	△983,890	994,618	3.4
過年度法人税等	—	—	104,915	0.5	104,915	—	—
法人税等調整額	105,163	0.6	△193,674	△1.0	△298,837	△111,987	△0.4
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△41,140	△0.3	37,745	0.2	78,885	△11,834	△0.0
四半期(当期)純利益	2,331,450	12.4	40,197	0.2	△2,291,253	3,240,323	11.0

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自 平成18年12月1日 至 平成19年8月31日)	当第3四半期 (自 平成19年12月1日 至 平成20年8月31日)	増減額 (△印減)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年12月1日 至 平成19年11月30日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,505,511	115,330	△3,390,180	4,111,121
2 減価償却費	676,951	657,183	△19,767	868,713
3 減損損失	—	—	—	135,852
4 役員退職慰労引当金の 増加額	—	515,135	515,135	—
5 受取利息及び受取配当金	△27,338	△24,980	2,358	△37,072
6 支払利息	251,115	66,525	△184,590	290,183
7 持分法による投資利益	△73,164	△261,059	△187,895	△142,736
8 有形固定資産売却益	△3,653,759	—	3,653,759	△3,642,766
9 売上債権の減少額	3,090,343	1,557,311	△1,533,032	992,367
10 たな卸資産の増減額 (△は増加額)	△253,287	△803,283	△549,995	1,017,835
11 前渡金の増加額	△1,054,929	△306,817	748,112	△331,978
12 仕入債務の減少額	△2,650,977	△1,615,188	1,035,788	△1,570,396
13 未払費用の減少額	△208,650	△229,009	△20,359	△50,890
14 前受金の増減額 (△は減少額)	936,441	763,158	△173,283	△390,562
15 その他	466,394	△659,784	△1,126,179	391,418
小計	1,004,650	△225,479	△1,230,129	1,641,088
16 利息及び配当金の受取額	42,161	30,525	△11,636	54,514
17 利息の支払額	△279,946	△56,132	223,814	△317,085
18 法人税等の支払額	△232,097	△1,170,950	△938,852	△233,416
19 法人税等の還付額	89,781	18,251	△71,529	89,781
営業活動による キャッシュ・フロー	624,547	△1,403,785	△2,028,333	1,234,881

	前第3四半期 (自 平成18年12月1日 至 平成19年8月31日)	当第3四半期 (自 平成19年12月1日 至 平成20年8月31日)	増減額 (△印減)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年12月1日 至 平成19年11月30日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー				
1 有形固定資産 の取得による支出	△859,224	△1,516,163	△656,938	△944,815
2 有形固定資産 の売却による収入	9,032,526	3,733	△9,028,793	9,128,387
3 投資有価証券 の取得による支出	△22,500	△2,069	20,430	△26,902
4 投資有価証券 の売却による収入	768,655	309,474	△459,180	768,655
5 関係会社への 出資による支出	△47,589	△23,724	23,865	△47,589
6 関係会社株式の 売却による収入	—	7,500	7,500	—
7 貸付による支出	△32,000	—	32,000	△32,000
8 貸付金の回収による収入	49,462	—	△49,462	145,462
9 その他	13,110	4,312	△8,797	△51,522
投資活動による キャッシュ・フロー	8,902,440	△1,216,935	△10,119,376	8,939,674
III 財務活動による キャッシュ・フロー				
1 短期借入金の純減少額	△738,633	△909,529	△170,896	△741,133
2 長期借入れによる収入	352,250	2,767,851	2,415,601	352,250
3 長期借入金 の返済による支出	△6,382,320	△666,145	5,716,175	△8,181,406
4 社債の償還による支出	—	—	—	△100,000
5 新株予約権付社債 の償還による支出	—	△1,189,875	△1,189,875	△591,000
6 株式の発行による収入	3,000,015	—	△3,000,015	3,000,015
7 配当金の支払額	△1,965	△114,769	△112,803	△2,035
8 少数株主への 配当金の支払額	—	△1,350	△1,350	—
9 その他	16,403	△16,509	△32,913	11,009
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,754,250	△130,327	3,623,923	△6,252,300
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	87,778	△15,614	△103,393	37,759
V 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少額)	5,860,515	△2,766,663	△8,627,179	3,960,015
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	2,789,435	6,749,451	3,960,015	2,789,435
VII 現金及び現金同等物の 期末残高	8,649,951	3,982,787	△4,667,163	6,749,451